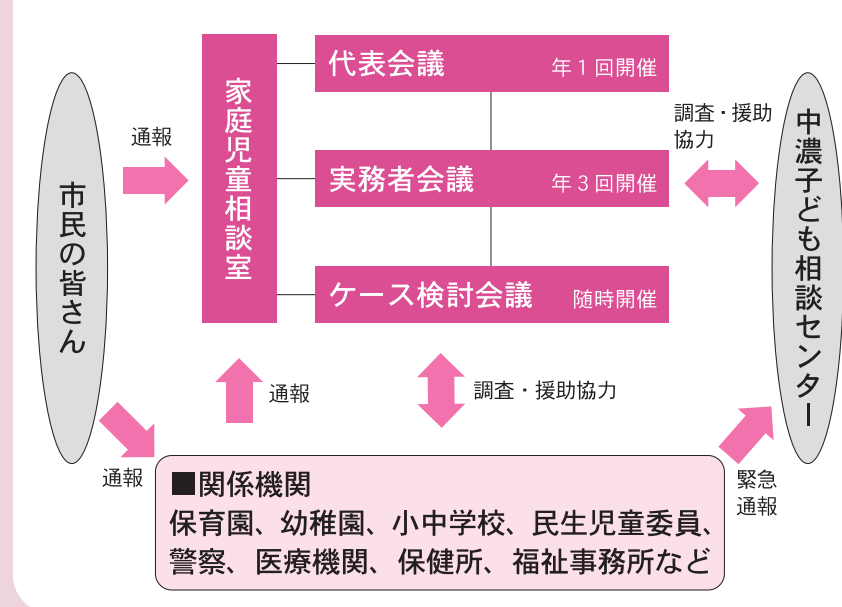


平成 18 年 8 月設立

平成 16 年に「児童福祉法」が改正され、市町村が児童虐待などの相談窓口の第一機関として位置付けられました。美濃加茂市では、市や中濃子ども相談センター、中濃保健所、加茂警察署、加茂医師会、民生・児童委員協議会など子どもにかかわる 12 団体が構成する「美濃加茂市要保護児童対策地域協議会」を 8 月 22 日に設立しました。

この協議会では、実務者会議や個別ケース検討会議を開催し、各団体で行っていた児童虐待などへの対応を組織的に行之い、児童への援助や支援を円滑かつ迅速に行います。

美濃加茂市要保護児童対策地域協議会



美濃加茂市要保護児童対策地域協議会

一人で不安や悩みを抱え込まないことが大切

子育てに不安や悩みは付き物です。その不安や悩みを一人で抱え込まないことが大切です。市にも子育てを支援する

る場所が用意されています。子育ての仲間同士で不安や悩みを話し合うことで、子育てのストレスが少しでも解消できると思っています。育児相談も受けられますので、利用していただければと思います。

なぜ虐待は起きるのか
虐待を防止するには

児童虐待が起きる要因、虐待の防止策について、中濃子ども相談センター所長の小林秀則さんに伺いました。

虐待を早期に発見するには
皆さんの目が必要です



中濃子ども相談センター所長
小林秀則さん

身近なところに
虐待の芽が潜んでいる

児童虐待が起きるのには、さまざまな要因が考えられます。不安定な夫婦関係、望まない妊娠・出産など親の要因や、子どもの健康や発育状態など子どもの要因、親自身が幼いころに虐待を受けていたことで同様な行為をしてしまう親の生育歴の問題などがあります。また最近では、身近で子育ての相談ができる相手がいないと、孤立感と閉塞（へいそく）感を抱いている人も増えています。

近なところに虐待の芽が潜んでいます。虐待は、許されることではありませんが、その部分だけを責めても問題はなかなか解決しません。虐待された子どもだけでなく、虐待してしまった保護者を援助することも大切なことです。

三つの「不自然」への
気付きが大切

虐待の期間が長くなればなるほど、子どもの受ける傷も深くなり、心身の回復や親子関係の修復が困難になることから、早期に発見することが重要です。虐待を早期に発見するには、三つの「不自然」への気付きが大切だといわれています。

中濃子ども相談センター

子ども相談センターは、児童福祉法に基づいて設置されている児童相談所です。悩みを持っているお子さん自身、ご両親や家族、保育園や学校、地域の人から 18 歳未満のお子さんについてのあらゆる相談に応じ、共に考え、援助します。

◇とき 毎週月～金曜日（祝日・年末年始は除きます）
午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

◇ところ 古井町下古井
2610-1
可茂総合庁舎
5 階

◇電話 25・3111
(内線 343)

※時間外・休日でも電話はつながります



一つ目は、子どものけがへの不自然な説明や近所付き合いの回避、子どもに会わせないなどの「親の不自然」。二つ目は、発育不全や不自然な傷、極端な不潔、家に帰りがらない、乱暴・無表情、節度のない甘えなどの「子どもの不自然」。そして三つ目は、親の子どもへの冷たさや乱暴な言葉掛け、親の前での子どもの極度の緊張など「親子関係の不自然」です。

相談室や地域の民生児童委員さん、中濃子ども相談センターなどに連絡していただくことが、虐待の早期発見につながります。現在は、近所付き合いなども希薄になってきていますが、皆さん一人一人の目で気を配ってあげることが、苦しんでいる子どもを助けることになり、また、虐待している保護者も助けることになります。通告された人の秘密は守られますので、「虐待の可能性」があると思われる場合は、連絡してください。

子どもを虐待から
守るための 5 か条

- ①「おかしい」と感じたら迷わず連絡
(児童相談所、福祉事務所に連絡ください)
- ②「しつけのつもり」は言い訳
(子どもの立場が大切です)
- ③ひとりで抱え込まない
(できることから、実行しましょう)
- ④親の立場より子どもの立場
(子どもの命が最優先です)
- ⑤虐待はあなたの周りでも起こりうる
(特別なことではありません)

わたしは、小児科の医師として子どもを診察しております。日々の診察の中で、時に「これは虐待されているのでは」と感じる時があります。しかし、たった 1 回の診察で虐待の事実を判断できることはまれです。協議会は、多くの子どもにかかわるメンバーで構成されているので、それぞれの立場で得た情報を共有することが、素早い対応につながっていくと思います。

また、子どもを虐待している保護者は、健診や病院に連れていかないことが多いので、虐待が発見されにくいのも事実です。これからは、子どもの周りにいる身近な人からの情報が大切になってきます。子どもの未来を守るために、皆さん一人一人がアンテナを張り、虐待に関する情報を伝えてほしいですね。



代表会議 座長
加茂医師会副会長
木沢記念病院副院長
小児科部長
岡本博之さん